

# カリキュラムマップ<リハビリテーション学科作業療法専攻>

## 建学の精神

「誠意と親切と広い心」を理念に、医療の基本的精神である科学と人間愛に基づき、医療の知識と技術向上に努め、地域医療福祉等に貢献できる人材を養成する。

## 建学の精神に基づく教育目的

全学の目的…建学の精神を理念として、豊かな一般教養の上に専門分野の実践的な学問及び技術を深く教授し、地域社会等に貢献し得る優秀な人材を養成する。

リハビリテーション学科作業療法専攻…深い人間愛をもち、高い倫理観の上に、高度化・多様化する医療・福祉に相応し得る次の知識・技術及び実践力をもつ作業療法士を養成する。

- ①一般教養と作業療法領域の専門知識、技術及び実践力を養う。
- ②高度化、多様化する医療環境の変化等に主体的に対応できる実践力を養う。
- ③生命の尊重と人間愛に基づく行動とチームと協働する良好な人間関係を築ける能力を養う。

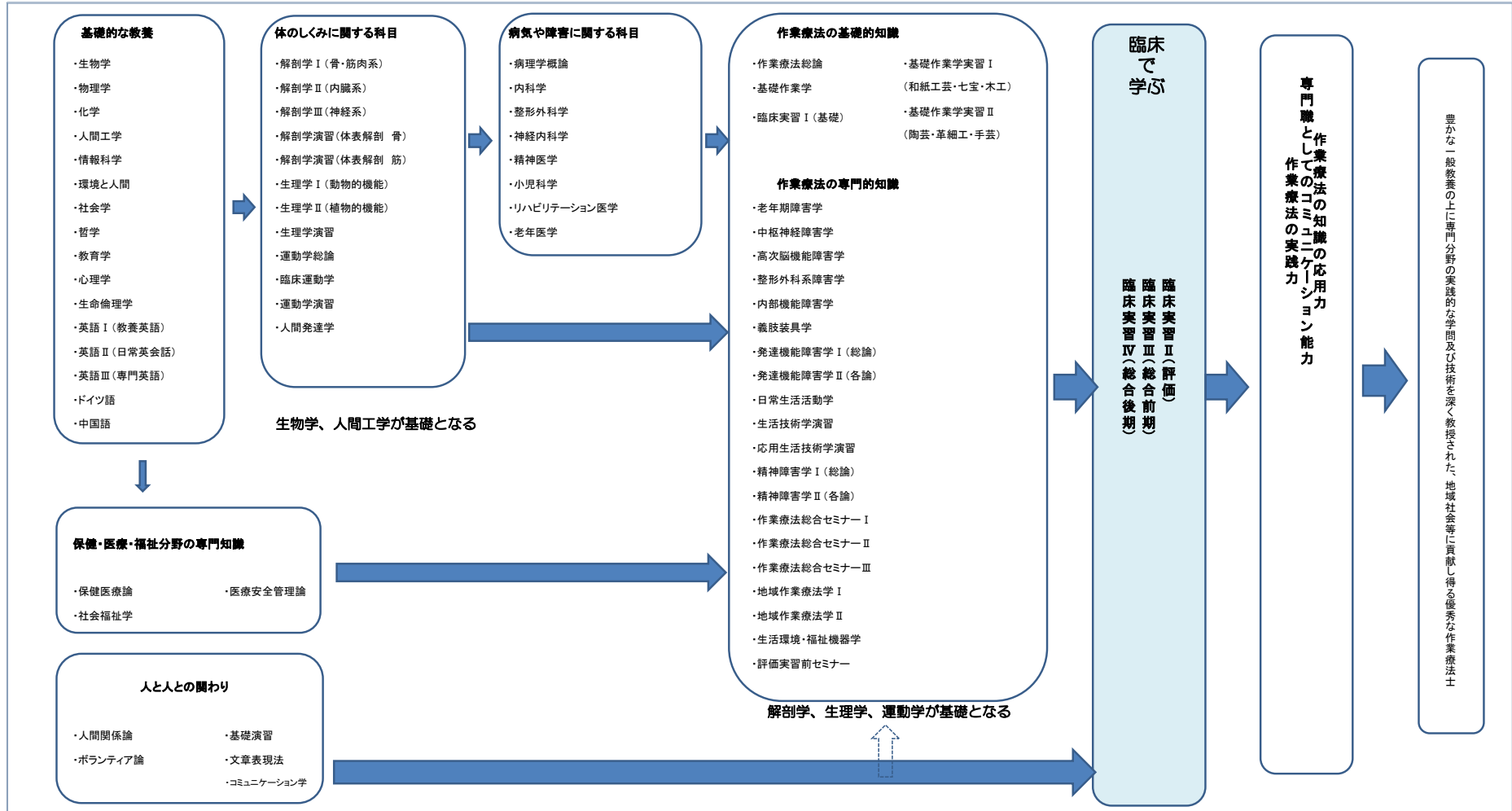
※ディプロマ・ポリシーの番号は、P2の該当番号。

教育目的に基づくカリキュラム・ポリシー		項目	1年次		2年次		3年次		学習成果	ディプロマ・ポリシー						
全学方針	学科方針		前期	後期	前期	後期	前期	後期		全学方針	作業療法専攻					
<p>社会生活に求められる教養・倫理・責任感及びコミュニケーション能力を身につけるため、全学に総合教育科目を配置する。</p>		人間と科学	生物学 物理学 化学 人間工学 社会学	情報科学 環境と人間					<p>教養・倫理・責任感及びコミュニケーション能力の修得</p>	<p>1(1) 全学共通の教養科目の履修を通して、社会的責任感、良好な人間関係、コミュニケーション能力、倫理観など、医療人として求められる教養を身につける。</p>	<p>4(1) 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、作業療法を実践する。</p>					
		人間と社会	社会学 人間関係論 ボランティア論	哲学 教育学 心理学			生命倫理学									
		コミュニケーション	基礎演習 文章表現法	コミュニケーション学												
		外国語	英語Ⅰ(教養英語)	英語Ⅱ(日常英会話) 英語Ⅲ(専門英語) ドイツ語 中国語												
<p>作業療法の基礎知識と能力を修得するため、人体の理解、疾病及び社会構造などの科目を配置する。</p>		人体の構造	解剖学Ⅰ(骨・筋肉系) 解剖学Ⅱ(内臓系) 解剖学演習(体表解剖 骨)	解剖学Ⅲ(神経系) 解剖学演習(体表解剖 筋)					<p>作業療法の基礎知識・能力の修得</p>	<p>1(2) 学修を通して、専門職として求められる専門知識、技術及び実践力を修得し、地域医療福祉に貢献できる力を身につける。</p>	<p>4(2) 一般教養と作業療法領域の専門知識、技術及び実践力をもつ。</p>					
		人体の機能	生理学Ⅰ(動物的機能) 運動学総論	生理学Ⅱ(植物的機能) 生理学演習 臨床運動学	運動学演習											
		心身の発達	人間発達学	病理学概論 精神医学	内科学 整形外科学 神経内科学 小児科学											
		疾病の成り立ち														
		障害の成り立ち		リハビリテーション医学 老年医学												
		保健・医療・福祉の連携	保健医療論	社会福祉学 医療安全管理論												
		<p>専門教育科目は、専門職の基礎知識である人体・疾病などの専門基礎を学び、それぞれの学科・専攻課程ごとに、次とおり専門知識・技術及び実践力を修得する科目を配置する。</p>		基礎作業療法学	作業療法総論 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅰ(福祉工学・七宝・木工)	基礎作業学実習Ⅱ(福祉・基礎工・手芸)	作業療法研究方法論	卒業研究						<p>作業療法の専門知識・技術の修得</p>	<p>1(3) 学科・専攻課程の教育目的に基づき学修を通して、人間、医療福祉問題等を科学的・論理的に思考し、柔軟な発想による課題発見、解決のための知識、技術等を身につける。</p>	<p>4(3) 良識・倫理観と責任感をもち、患者、患者家族、チームを尊重し、責任をもって職務を実践できる。</p>
				作業療法評価学		作業療法評価学概論	作業療法評価学Ⅰ(身体機能) 作業療法評価学Ⅱ(精神機能・活動・環境) 作業療法評価学演習Ⅰ(身体機能) 作業療法評価学演習Ⅱ(精神機能・活動・環境)									
				作業治療学		作業療法治療技術理論	認知症予防論 作業行動理論 精神障害治療論 ニューロリハビリテーション論 整形外科系障害治療論 日常生活・環境アセスメント論 整形外科系障害学 義肢装具学 発達機能障害学Ⅰ(総論) 日常生活活動学 生活技術学演習 精神障害学Ⅰ(総論)	老年期障害学 中枢神経障害学 高次機能障害学 内部機能障害学 発達機能障害学Ⅱ(各論) 日常生活・環境アセスメント論 精神障害学Ⅱ(各論) 作業療法総合セミナーⅠ(評価)				作業療法学総合演習Ⅰ(基礎) 作業療法総合セミナーⅡ(評価と介入①)	作業療法学総合演習Ⅱ(専門) 作業療法総合セミナーⅢ(評価と介入②)			
				地域作業療法学				地域作業療法学Ⅰ(制度・支援・連携) 生活環境・福祉機器学				地域作業療法学Ⅱ(実践・就労支援)				
<p>作業療法の領域ごとに、知識応用力・専門職コミュニケーション能力を修得し、実践能力を高める実習科目を年次段階的に配置する。</p>		臨床実習		臨床実習Ⅰ(基礎)	評価実習前セミナー 臨床実習Ⅱ(評価)	臨床実習Ⅲ(総合前期)	臨床実習Ⅳ(総合後期)	<p>作業療法の知識応用力・専門職コミュニケーション能力・実践力の修得</p>	<p>4(4) 向上心と探究心をもって職務を実践できる。</p>							

# 科目関連図

各科目がどのように関連しているかを理解して学習をすすめる。

## <リハビリテーション学科作業療法専攻>



到達目標評価項目(学習成果)および評価基準

<リハビリテーション学科作業療法専攻>

評価項目 学習成果	評価基準			適用科目	学校としての学習成果の評価
	3 (非常に優れている)	2 (優れている)	1 (基準に達している)		
教養・倫理・責任感及びコミュニケーション能力の修得	当該分野のGPA 2.50～4.00	当該分野のGPA 2.00～2.49	当該分野のGPA 1.00～1.99	生物学 物理学 化学 情報科学 人間工学 環境と人間 社会学 人間関係論 ボランティア論 哲学 教育学 心理学 生命倫理学 基礎演習 文章表現法 コミュニケーション学 英語Ⅰ(教養英語) 英語Ⅱ(日常英会話) 英語Ⅲ(専門英語) ドイツ語 中国語	当該分野の学生のGPA平均値が 左記1～3のいずれに該当するか により評価。
作業療法の基礎知識・能力の修得	当該分野のGPA 2.50～4.00	当該分野のGPA 2.00～2.49	当該分野のGPA 1.00～1.99	解剖学Ⅰ(骨・筋肉系) 解剖学Ⅱ(内臓系) 解剖学Ⅲ(神経系) 解剖学演習(体表解剖 骨) 解剖学演習(体表解剖 筋) 生理学Ⅰ(動物的機能) 生理学Ⅱ(植物的機能) 生理学演習 運動学総論 臨床運動学 運動学演習 人間発達学 病理学概論 内科学 整形外科学 神経内科学 精神医学 小児科学 リハビリテーション医学 老年医学 保健医療論 社会福祉学 医療安全管理論	当該分野の学生のGPA平均値が 左記1～3のいずれに該当するか により評価。
作業療法の専門知識・技術の修得	当該分野のGPA 2.50～4.00	当該分野のGPA 2.00～2.49	当該分野のGPA 1.00～1.99	作業療法総論 作業療法研究方法論 基礎作業学 基礎作業学実習Ⅰ(和紙工芸, 七宝, 木工) 基礎作業学実習Ⅱ(陶芸, 革細工, 手芸) 卒業研究 作業療法評価学概論 作業療法評価学Ⅰ(身体機能) 作業療法評価学Ⅱ(精神機能・活動・環境) 作業療法評価学演習Ⅰ(身体機能) 作業療法評価学演習Ⅱ(精神機能・活動・環境) 作業療法治療技術理論 認知症予防論 作業行動理論 精神障害治療論 ニューロリハビリテーション論 整形外科系障害治療論 日常生活・環境アセスメント論 老年期障害学 中枢神経障害学 高次機能障害学 整形外科系障害学 内部機能障害学 義肢装具学 発達機能障害学Ⅰ(総論) 発達機能障害学Ⅱ(各論) 日常生活活動学 生活技術学演習 応用生活技術学演習 精神障害学Ⅰ(総論) 精神障害学Ⅱ(各論) 作業療法学総合演習Ⅰ(基礎) 作業療法学総合演習Ⅱ(専門) 作業療法総合セミナーⅠ(評価) 作業療法総合セミナーⅡ(評価と介入①) 作業療法総合セミナーⅢ(評価と介入②) 地域作業療法Ⅰ(制度・支援・連携) 地域作業療法Ⅱ(実践・就労支援) 生活環境・福祉機器学	当該分野の学生のGPA平均値が 左記1～3のいずれに該当するか により評価。
作業療法の知識応用力・専門職 コミュニケーション能力・実践力 の修得	当該分野のGPA 2.50～4.00	当該分野のGPA 2.00～2.49	当該分野のGPA 1.00～1.99	臨床実習Ⅰ(基礎) 評価実習前セミナー 臨床実習Ⅱ(評価) 臨床実習Ⅲ(総合前期) 臨床実習Ⅳ(総合後期)	当該分野の学生のGPA平均値が 左記1～3のいずれに該当するか により評価。